

設立趣意書

日本の社会が成熟度を増すにつれて価値の多様化がいわれるようになりましたが、子ども達を取り巻く教育の世界では、学校化という価値の一元化の嵐が地域、家庭をまきこみ、子どもの教育が家庭の第一目標となっけていきます。地域も家庭も学校と同じ価値判断を子どもに強要するようになり、息苦しさは一段と増していきます。世に言われる不良たちはこれを拒否し、学校で暴れやがて小ギャルやチーマーとなってストリートに飛び出しますが、そこに行けない子は不登校を続け家にこもるようになりました。教育家族は新たな価値を見出せず苦慮し、学校に戻れないことに罪悪感をもち苦しむこととなります。この現象はどの家庭、学校にもおこりうることとされ、行政も積極的に取り組んでいます十分ではありません。

1990年に「登校拒否はどの子にもおこりうる。」と文部省が発表してから10年以上がたちました。2001年には不登校の子は13万4千人、中学生は1クラスに1人は不登校の子がいるといわれています。そのうち15%から20%は長期化し、ひきこもりという現象を起こす可能性をもっています。

私達はこの法人を設立するにあたり次のことを考えました。

学校に行かない（行けない）子ども達も、行っている子ども達同様幸せになる権利があり学校に行かなくてもいろいろな生き方があるし、多様な可能性を子ども達はもっています。それらを子ども達がゆっくり、いろいろな友人や大人たちと関係を持ちながら、感じてくれる場所と時間を提供します。

学外で育ち、学ぼうとしている子ども達が集う自由、自主、自立を理念としたフリースペースの運営を中心に数種の事業を展開し、市民、若者、教育関係者、親、それぞれの人々が交流を持ち、話し合える場所と時間を提供します。

あらゆる人々と共に多様な価値を持つ自由を獲得し、孤立した子どもや若者、親をめぐる問題を解決に向けて共に考え、行動する共同体を創造します。

私たちの趣旨に賛同していただきこの法人の設立及び発展にご支援ご協力お願いいたします。尚具体的な事業内容については定款を御覧ください。

小柳 良
滝田 衛